会　議　録

会議の名称	令和８年度第１回垂水市介護保険運営協議会	
開催日時	令和８年６月 24 日（水）	午後３時から午後４時まで
開催場所	垂水市市民館　２階　大会議室	
委員出席者	鹿児島県大隅地域振興局地域保健福祉課長　四元　俊彦 （代理出席：奥　幸代）	
	垂水市社会福祉協議会　会長　谷口　敏徳	
	垂水市民生委員協議会　副会長　川畑　里美	
	垂水市立介護老人保健施設コスモス苑　支援相談員　池田　正樹	
	養護老人ホーム　垂水華厳園　計画作成担当者　川越　千恵美	
	地域住民代表（中央・水之上・大野地区）　中馬　吉昭	
	地域住民代表（協和地区）　小濵　栄子	
	地域住民代表（新城・柊原地区）　児玉　成子	
	地域住民代表（牛根地区）　津曲　弘子	
	介護保険サービス利用者の家族代表　前田　政博	
	第一号被保険者代表　上村　ひとみ	
	第二号被保険者代表　池田　みすず	
委員以外の出席者	垂水市長　尾脇　雅弥	
	福祉課長　大迫　均	
	福祉課課長補佐兼地域包括ケア係長　葛迫　洋	
	福祉課介護保険係　係長　前田　康晴	
	福祉課介護保険係　主査　下茂　尚太	
	福祉課介護保険係　主事　末吉　美早紀	
会議事項等	１　開　会 ２　市長あいさつ ３　委員紹介 ４　議　題 ⑴　介護保険事業計画等の令和７年度実績等について ⑵　第９期介護保険事業計画等（令和７年度）の進捗状況について ⑶　保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金に係る評価指標について ⑷　介護予防日常生活圏域ニーズ調査・高齢者等実態調査の結果について ⑸　第 10 期介護保険事業計画策定のスケジュールについて ６　その他 ７　閉　会	
会議の経過	発言者	意見等
	事務局（末吉）	定刻になりましたのでただいまから令和８年度第１回垂水市介護保険運営協議会を開催いたします。私は、福祉課介護保険係の末吉と申します。よろしくお願いいたします。 本日の会議は１時間程度を予定しております。 はじめに、資料の確認および訂正がございます。 本日使用する資料が、こちらの第１回垂水市介護保険運営協議会の資料になっております。 資料の９ページを机上に配布しました資料に差し替えをお

		願いいたします。 黄色に色付けされた部分が訂正箇所となっております 。 また 17 ページの上の方の「評価に用いた情報」の、２番目のチームオレンジの推進、チームオレンジの整備数を１チームから３チームへ訂正をお願いいたします。訂正は以上です。 それでは、資料１ページ目の会次第に沿って進めたいと思います。 会次第２の「開会の挨拶」に参ります。垂水市長の尾脇雅弥が開会の挨拶を申し上げます。
	市長	あいさつ
	事務局（末吉）	会議の途中ですが市長は次の公務がございますのでここで退席させていただくことをご了承願います。 （市長退室）
	事務局（末吉）	続きまして、会次第３の「委員の紹介」に参ります。この度民生委員協議会の役員改正に伴い１名の委員の方に変更があり、新たに委嘱させていただきました。本来ならば委嘱状をお渡しすべきところではございますが、会議の時間も限られておりますことから、失礼ながら今回変更になった委員の方には、机上へ事前に配布させていただきました。その他の委員の皆様は昨年から継続して委嘱しておりますが、改めてお名前を読み上げて紹介をさせていただきます。 39 ページをお開きください。なお本日は四元委員の代わりに鹿児島県大隅地域振興局地域保健福祉課介護指導係長の奥幸代様が出席されています。またコスモス苑施設長の福本委員及び浩愛会理事長の池田委員は本日欠席のご連絡がございました。 それでは委員名簿の順にご紹介します。
		（各委員紹介）
	事務局（末吉）	本日は、委員 14 名中 12 名の委員が出席しておりますので垂水市介護保険運営協議会設置要綱第６条第２項の規定により本会議は成立していることを報告いたします。

会議の経過	事務局（末吉）	また本日は本市が計画策定業務を委託しているアシスト株式会社のお２人にもご出席いただいております。 それでは早速ですが、議事にうつりたいと思います。要綱第６条第１項の規定により以降の議事の進行を池田会長にお願いしたいと思います。それでは、池田会長よろしくお願いいたします 。
	池田会長	みなさまお疲れ様でございます。池田でございます。台風も気になると思いますけれども本会議がですね、皆様が来て良かったと思えるように進めてまいりたいと思っております。時間の方が１時間ちょっとの予定ということで、ちょっと本日議題も多くございますが皆様のご意見をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて進めさせていただきます。 それでは 会次第４の議題に参ります。「介護保険事業等の令和７年度実績について」、事務局から説明お願いいたします。

	事務局（下茂）	資料に従い、議題（1）の説明
	池田会長	ありがとうございます。ただいまの説明にたいしてご意見・ご質問はありませんか。ないようですので議題（2）「第９期介護保険事業計画等の実績について」、事務局から説明お願いします。
	事務局（下茂）	資料に従い、議題（2）の説明
	池田会長	ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見・ご質問はありませんか。
	中馬委員	22 ページにあります、ケアプラン点検のとこの中で（2）のところで、特に 10 万以上というふうに書いてありますけれども、確かこの住宅改修については上限が 20 万円だったでしょうかね、もしそうであった場合でもこの 10 万円以上とありますけども、今物価の上昇、特に建設とかそういうものについては非常に値上がりをしておりますのでこの金額、要するに、上限金額を超えたりなんかする･･･ここのところをどう考えているのかなということちょっとお聞きしたいと思います。
	事務局（前田）	10 万円以上の住宅改修ということで、ここをなぜ立ち合いの前に事前審査を行って、改修後に訪問してその住宅改修が適正だったかというところを確認してるんですが、10 万円以上となると手すりをつけるところが複数箇所出てきたりするので、その住宅改修がその方の身体状況に見合ったところに、今設置をされているか、その手すりが多くないか、少なくないかというところを確認させていただいてるところでございます。 20 万円の上限は、決まった上限額ですので、それを超えた分については本人さんの自己負担ということになります。
	中馬委員	建設費が高騰しているのでその金額が要するに 20 万なら 20 万っていうものがすでにだいぶ前の設定の話なのでそこのところを上げる必要はないでしょうかっていう意味を伺ってるんですけど。

会議の経過	事務局（前田）	すいません、この 20 万円の上限額というのは、国の方で定められた基準額ですので、自治体の方で変えられるというものではございません。
	中馬委員	それとですね、要するに支援専門員の方が対象の方がどの程度まで必要か、あるいは一番いいか、ベストではないにしてもベターな支援がどうかっていうところ、あらかじめね、修理業者と本人というよりも、その間に入って専門員の方が、この方はこういう部分でちょっとより改善する必要があるよ。っていうような意見を参考にするためには、支援の方も入って個別に意見を言ってあげるって言うことが必要じゃないですか。だからそれをやると言うんだから是非それをやっていただきたいということです。
	事務局（前田）	この住宅改修に関しましては、設置前に、本人、ご家族の方

		がいればご家族、介護支援専門員、住宅改修業者、その住宅改修業者は、住環境コーディネーターという資格を持っておりますので、そういう方々が一同に介して住宅改修の設置箇所を決めていくというところを話しておりますので問題ないかと思っております。
	池田会長	他に意見はございませんか。ないようですので、議題（3）「保険者機能強化推進交付金及び介護保険者努力支援交付金にかかる評価指標について」、事務局から説明お願いします。
	事務局（下茂）	資料に従い、議題（3）の説明
	池田会長	ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見・ご質問ありませんか。
	中馬委員	教えて欲しいんですけど、26 ページのこの計算方式の中で②のところアウトカム配分枠っていうのがありますけど、このアウトカム配分枠っていうのはどういうことですか。
	事務局	（調査中）
	中馬委員	もしわからなければ、次回の時に説明していただければいいですよ。
	事務局（大迫）	後ほど、確認し回答いたします。
	池田会長	それでは後ほどよろしくお願いいたします。他にありませんか。ないようですので議題（4）「介護予防日常生活圏域ニーズ調査、高齢者実態調査の結果について」、事務局から説明お願いします。
	事務局（下茂）	資料に従い、議題（4）の説明
	池田会長	ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見・ご質問はありませんか。
	中馬委員	30 ページのですね、調査結果の中にこの表がありますけども、その中にですね、介護保険施設に入所したいというところに 6.6%という数字があります。でこれはかなり必要性を感じている人が、入所したいというふうに思ってるんだと思いますけれども、これに対して入所希望待機者は今どうなってますか。
会議の経過	事務局（前田）	特別養護老人ホームは今、1 箇所あるんですがそちらの方はだいたい 50 名程度の待機者。養護老人ホーム、垂水華厳園の方はだいたい 150 名程度いると聞いております。施設でいいますと老健施設の方は、待機者というよりは待機はするんですが、その入れ替わりがあるので、そこまで待機をするというところはございません。
	中馬委員	待機者が相当いますよね、これ大きな問題だと思うんです。今入りたいけれども入れない。これいったいどういうふうにすれば、待機者がなくなるようになるか。ものすごく大きい問題なんですよね。でここの部分がだいぶ改善されれば垂水の人口の減少率もかなり減ってくるんじゃないか。非常に間接的な原因ではあるけれども大きな問題なんだと思うんで

		すよね。どうしたらいいでしょう。
	事務局（前田）	非常に難しいご質問だとは思うんですが、今のところその施設に待機をしてるっていうところでは、他の介護保険サービスを利用しながら施設の入所を待つという状況は今のところ変わらないのかなというところであります。垂水市の施設に入りたいという場合はですね、そういった状況になってしまうのかなと思います。またどうしても施設に入りたいという場合は市外の施設をご案内したりとかいうこともございます。
	中馬委員	今日は池田誠先生がいらっしゃらないのであれですけど、池田先生と話す機会があって結局施設そのもの、物理的な施設そのものはあるんだけど、従業員が集まらない。空室があるけれども入れないと。こういうことなんですね。だから待遇改善の部分もあったりして結局施設のスタッフが十分に活動できる意欲を持ってできるっていうのは収入面にも相当大きな関わりがあると思うんですけども、このあたりをかなり行政が支援してあげないとこのままではなかなか希望がもてないんじゃないかっていう感じもしますけどね。これは感想を含めたところですけど。
	事務局（前田）	今年度からですね、市内の介護事業所に従事する職員の方々に資格取得支援を始めたところでございます。その資格受講にかかる一部補助を行うことで人材の介護事業所に人材の定着を支援していきたいと考えております。
	池田委員	コスモス苑の池田です。中馬委員が質問された物価高対策がどの程度なのかっていうところ。今年度は、施設の食事代が100円。物価高対策として値上がりするぐらいで、私の知ってる範囲では物価高対策で何かそういう費用がちょっと上乗せされたっていう情報はないです。職員の処遇に関しての改善加算というのがあのそれぞれの施設で値上がりはしているんですけど。

会議の経過	池田委員	あと老人ホームの待機者数に関しては恵光園さんが50人ぐらいということだったんですけど、実際50人全員今すぐ入りたい人たちかっていうと、そうでもないということでした。実際、順番が来て声をかけるけど今は大丈夫です。とか、どこかに入ってて、もうそこでずっといたいです。とかそういうとこで割と恵光園さんも、空いた時に次入る人を、どの人が入られるのかっていうのを結構探したりして、我々の老健施設も以前ほどは入所申し込みが減っています。というのが、やはり市内の高齢者数自体も減ってきているのが大きな要因だろうと施設の方で分析しているところです。 あとは池田先生がかねがね言われている、必要な職員数に満たないというよりかは、やはり施設としての質を保つために必要な人数がなかなか揃わない実情があります。国の方は機械を使えとかやはりそういうところでカバーしてって言うんですけど、やはり人の手にかなわないところもあります

		し、なかなか垂水市のかたも働きにくいのかなという印象で、私どもの施設の方も割と垂水市ではない、鹿屋市、鹿児島市、国分、霧島辺りから通勤する人なども増えているところが実情です。
	事務局（大迫）	事務局の方から、華厳園の方につきましては今日川越委員がいらっしゃってますけども、入所の判定委員会なんかを市がして入所者を決めさせていただいているところから、150 人の先ほど待機者がいらっしゃると申し上げましたけれども恵光園と同じようにですね、順位の上の方からどんどん連絡をしても今はいいと。で、どんどん下の方も後に申し込んだ方がバッと入られるパターンもあったりしてですね、150 人すべてがすぐに入りたい状況ではなくて、一応申し込んでおこうかという方も大多数いらっしゃるのかなというところで、詳しい何人中何人、150 人中何人がっていうのは今数字を持ち合わせておりませんけれども、そういう状況が見えてるところでございます。 あと人材確保の面に関しては、先ほど係長からも申しましたように研修を受けるにあたっての補助とかそういうところとかですね、あと事業所間で連絡を取りやすいようなパソコン上のツールとかですね、そういうのを導入したりしておりますけれども、いわゆる抜本的な人材育成のための人材確保のための支援となりますと、他の産業とも人材の確保というのは喫緊の課題かと思っておりますので、その辺を庁内でも協議しながらですね対策を考えていきたいと考えております。
	事務局（前田）	先ほど中馬委員から質問がございました、26 ページのアウトカム配分枠についてご説明させていただきます。この①の基本配分枠というのが第１号被保険者の規模別で配分された基本配分になります。

会議の経過	事務局（前田）	この②のアウトカム配分枠というものと③保険者機能強化推進枠というのは成果を出している自治体に対する交付額のメリハリ付けを強化するという観点から、この追加配分枠というのがございましてこの成果を出している自治体をどのように評価してるかと言いますと、これが１年に１度、この保険者機能強化推進交付金と努力支援交付金の調査がございまして、その調査に基づいて点数付けをしています。
	池田会長	ありがとうございます。他にありませんか。ないようですので議題（５）「第 10 期 介護保険事業計画策定のスケジュールについて」、事務局から説明お願いします。
	事務局（下茂）	資料に従い、議題（５）の説明
	池田会長	ありがとうございます。ただいまの説明に関してご意見ご質問ありませんか 。ないようですので、会次第５の「その他」にまいります。委員の皆様から何かありませんか。

	谷口委員	今月の初めでした、NHKのトリセツショーという夜7時半から8時 15 分まであります。それを見てみましたら、ちょうどこの介護なんかもですけど予防対策として片足を 30 秒間上げて、とかそういうのベスト3とベスト2、ベスト1が出ていました。それをみて全国で実施しているのはっていうことでしたら、垂水中央運動公園が出たのです。体育館が。それでそこに○○○○○○○（市民の方の名前）やら私が知っている人3名ほどでてました。私はさっそく介護課にいってその状況を聞きましたら、社会教育課だというので社会教育課に行ったら、福祉課でと言われましたので早速前田さんでしたかね、私聞きに行きました。本当に全国放送でですね、垂水のああいうふうに一生懸命そういう予防対策をやっているのを見てすごく感激しました。そして私もそういうわけで社会福祉協議会でも、そういう人にもしよければヘルパーさんなどに頼んでやってみようかなということで申し込みの手続きをしたところでした。福祉課としてはすごく頑張ってるなって、私は実感しました。今度とも大変でしょうけど一生懸命頑張ってください。ありがとうございました。
	池田会長	ありがとうございます。事務局からいいですか。他にありませんか。
	事務局（前田）	7月、8月に開催する住民懇話会についてですが、また皆様にも個別に相談させていただいて出席していただければと思っておりますので、またご協力をよろしくお願いいたします。
	池田会長	ご案内よろしくお願いいたします。1点よろしいですか。22ページで先ほど中馬委員の方から住宅改修について質問があったと思うんですけれども、これについて去年でも直近のデータがありましたら、何件申請があって、上限を超えた分というのがあるのかどうか。もし何件あったのかっていうのが分かりましたら教えていただきたいんですけれども。

会議の経過	事務局（前田）	令和7年度の実績で 90 件程度住宅改修がございまして、上限を超えた分が数件程度です。
	池田会長	ありがとうございます。他にありませんか。今回ですね、課長が新しく4月から変わりまして、なかなかですね、市の課長さんとかに質問することってなかなかないのかなってこういう機会ってないのかなと思いますので、もし時間の方がちょっと押しておりますけれども、せっかくの機会なので何か思うこととか、お伝えしたいことがありましたら、できるできないはともかくですね、声を上げることはとても大切だと思いますので、ご意見がありましたら挙手していただけると助かります。ないですか。ありませんか。大丈夫ですか。帰り道に何かご意見があったら課長の方に是非お伝えください。ありませんか。大丈夫ですか。奥さんも県の方から何かありますか、思ったこと･･･

	奥委員	大隅地域振興局の介護指導係におります奥と申します。先ほど、皆様方のいろんなご意見で今回、各市町村の方で事業計画を作られますけれども、それを受けて鹿児島県の方でも県の介護保険の新計画というものを作成することになっております。県の中でもですし、全国でももちろんなんですが、ここでも出ました人材不足に対する取り組みというところは、本当に喫緊の課題なんだろうというふうには国の方も言っていていろいろな事業の方を進めていて、補助金の関係であったりとかっていうのは確かに実際進めているところなんですけれども、いかんせん働く人材が本当に不足、少なくなってきているところにどう手当てをするのかっていうところは県としても本当に市町村と今後、今回のこの計画を作成するにあたって、最後のページでヒアリングの方もさせていただくことにはなっているんですけれども、何て言うんでしょう、もうこれをすれば大丈夫というのが、実際決め手がない状況の中で手探りにはなりますけれども、皆さん方の本当に行政ができることと、それからやっぱり地域の皆さん方と一緒にやっていかないといけない事っていうのがあるかと思いますので、こういう意見の場でいろんな意見を聞かせていただいて少しヒントがもらえたらいいのかなと思っているところで、今日はちょっと皆さんのご意見を聞かせていただきました。すいません、感想になります。ありがとうございます。
	池田会長	ありがとうございます。他にありませんか。

会議の経過	中馬委員	人口問題について、今日の説明会のこの資料では 2035 年までについて１万人を割るというふうに載せてありますけれども、2040 年、これはあの人口問題研究所の発表ですけれどもこれによれば、7000 人になると。7000 人ですよ。これは確かに今、垂水の人口は年に 200 人ぐらいずつ減っております。これはずっとみてみますと全くその通りで、そうするとその 7000 人を割るということを前提にお考えをしていただきたいと思います。これはもう増えるっていうことはほとんど絶望的ですから、そういう点で福祉政策を考えていただきたいというふうに思います。
	池田会長	ありがとうございます。他にありませんか。本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。司会を事務局にお返しします。
	事務局（末吉）	池田会長ありがとうございました。最後に次回の介護保険運営協議会は９月下旬に開催を予定しております。日程が決まりましたら、委員の皆様にご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。それでは以上を持ちまして、令和８年度第１回介護保険運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。
会議結果	ー	
会議録の作成方法	■　録音媒体を使用した全文記録 □　録音媒体を使用した要点記録 □　要点記録	
特記事項	なし	